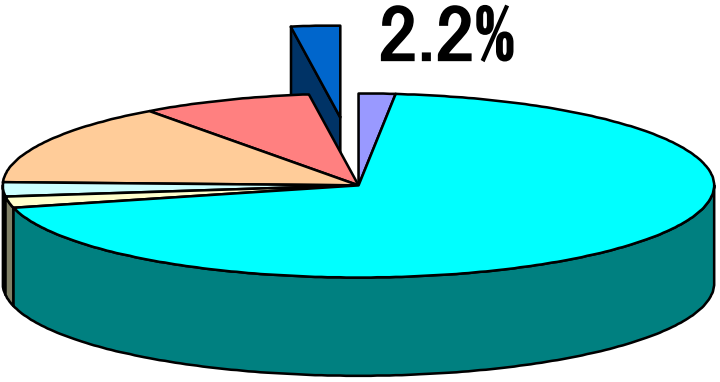


第7章	将来まで自律した状態が続く都市経営 (自律した都市経営の実践)
-----	------------------------------------



※ 平成25年度一般会計と特別会計の予算額中、第6次総合計画に位置付けられた基本施策の合計額(1,187億1千5百万円)における本施策の割合と、その円グラフ(基本施策の合計額には、人件費や一部の維持管理経費等は含みません。)

将来まで自律した状態が続く都市経営（自律した都市経営の実践）

26億4千1百万円（前年比 +4千5百万円 1.7% 増）

税総合システム開発費(+9千8百万円)の増などにより、前年度対比 1.7%の増 となりました。

(1) 参加と協働による市政の運営 2億2千4百万円（1千6百万円 増）

市政情報の積極的な提供と政策・施策の説明責任を果たすことにより、市民の市政に対する理解を深めます。また、市民が主体的に参加・参画できる自治体制を構築します。

【主な事業】

市政だより発行業務 映像関係広報業務 ホームページ提供業務

(2) 効率的な行政運営の推進 24億1千7百万円（2千9百万円 増）

行政が果たすべき真の役割を見極めながら、業務の効率化と財政の健全化を進め、安定した持続可能な行政経営を実践します。

【主な事業】

情報通信機器管理業務 地域情報通信基盤管理業務 電子計算処理業務 **シティプロモーション推進業務(81ページ)**
政策企画支援業務(82ページ) **【新】岡崎活性化本部運営費補助業務(83ページ)** 普通財産活用業務
税総合システム開発業務 **公共建築物整備事業(84ページ)**

※ **太字の事業**は、重点事項として記載のページに詳細を掲示

※ **【新】**は新規事業

シティプロモーション推進業務

企画財政部 企画課
総務政策班(23-6030)

[予算額 19,110千円]

【事業概要】

地域の魅力を再発見・再編集することにより、市民が親しみ、楽しめる次世紀の岡崎の魅力を創り出し、市民が誇りと愛着を持って発信することで、国内外の多様な交流につなげます。

【主な事業】

■ シティプロモーション推進計画策定業務

- * サポーター育成の仕組みづくりとマニュアルの作成
- * プロモート手法の構築
- * シティプロモーション戦略の策定
- * 事前・事後評価手法の構築

企画・提案



■ 市制100周年記念事業実施計画策定業務

- * シティプロモーションを基調とした記念事業の整理、実施計画の策定
- * 話題性、集客性の高い記念事業の誘致・企画提案



政策企画支援業務

企画財政部 企画課
企画班 (23-6812)

[予算額 28,900千円]

【事業概要】

分野横断的かつ中長期的な課題に対する政策の研究・立案を行うために必要な調査等を実施します。

【主な事業】

■交通環境変化影響基礎調査

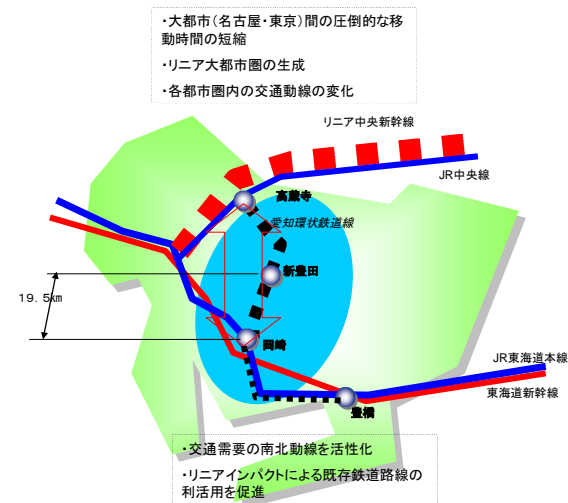
- * リニア中央新幹線開業に伴う社会情勢の整理
- * 既往調査から産業、観光、居住における影響の整理
- * 西三河地域の活力を高めるリニア時代の交通体系の検討

■JR岡崎駅周辺整備・交通計画等検討調査

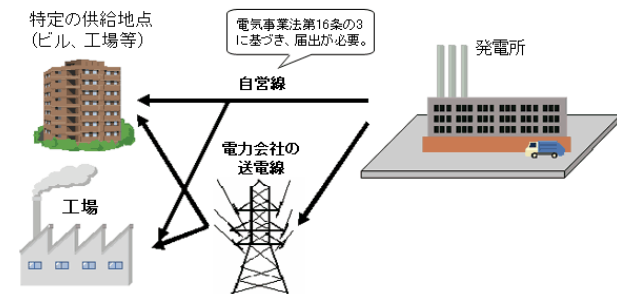
- * 乗降客動線の現状と課題の整理、将来交通量の予測、交通計画の検討
- * 賑わいに向けた導入機能、施設規模、施設配置の検討
- * 整備手法の検討、整備ビジョンの策定

■スマートコミュニティ構想基礎調査

- * 国内外のスマートコミュニティの取り組み状況の整理
- * スマートコミュニティビジョンの検討
- * 対災害性を向上させる拠点地区のエネルギー需給動向調査



◇ 概要図



新規事業

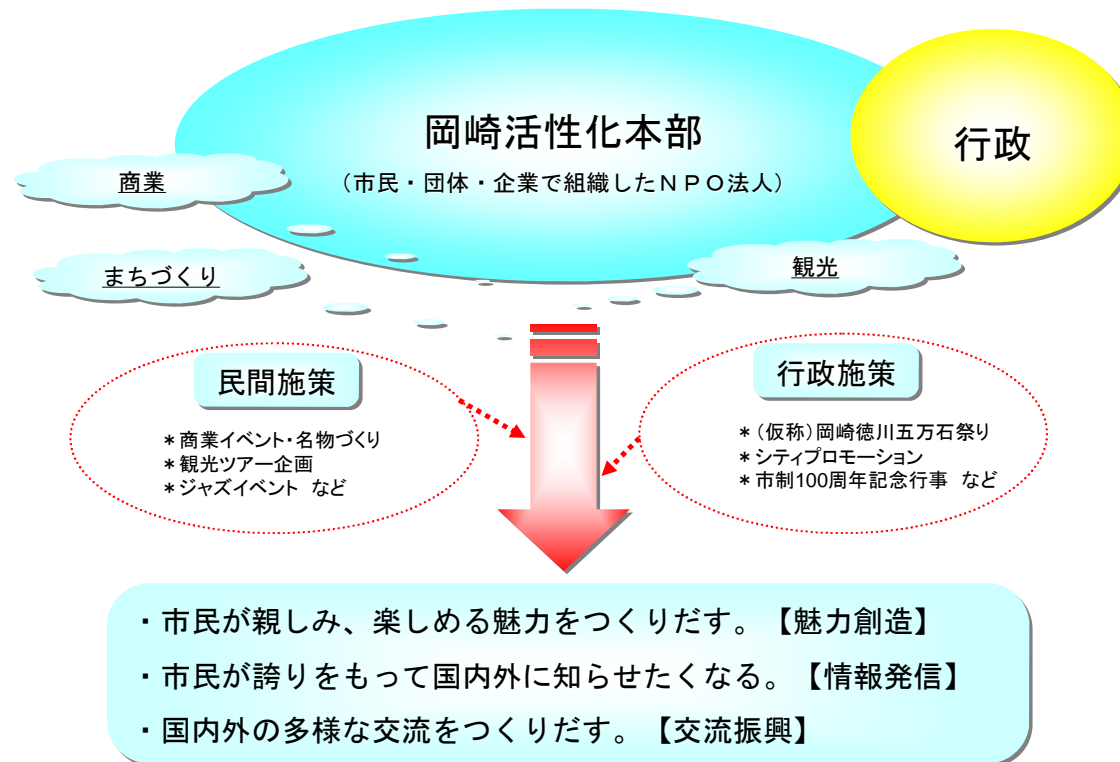
岡崎活性化本部運営費補助業務

企画財政部 企画課
総務政策班(23-6030)

[予算額 20,000千円]

【事業概要】

観光・文化・市民活動など多分野においてまちづくりを推し進めている民間団体と連携し、観光・商業イベント、街おこし運動、文化活動などを通じて市民に親しまれ、楽しめる魅力を創り出し、国内外の多様な交流につなげます。



公共建築物整備事業

建築部 施設保全室
管理班 (23-6765)

[予算額 545,345千円] (うちH24経済対策 133,000千円・H25 412,345千円)

公共建築物整備事業とは

岡崎市市有建築物管理保全基本方針（平成 23 年 3 月策定）に基づき、従来各課で対応していた建築物の改修工事を一元管理し、計画的な保全を行います。

中長期保全計画による保全工事

平成 25 年度の保全対象工事とは

計画的保全により
長寿命化

岡崎市の将来像は

中長期保全計画に基づき、一元管理された建築物を保全工事の優先順位を決めて次の事業を行います。また、平成 24 年 12 月に設置した公共施設保全整備基金※により、必要な財源の確保を図ります。

岡崎市体育館外部
改修工事等

岡崎市矢作体育館
外壁改修工事

小学校外部改修工事
等

中学校屋根改修工
事等

竜美丘会館昇降機
改修工事

三河武士のやかた家
康館昇降機改修工事

公立保育園給排水衛
生設備改修工事等

市営住宅外部改修
工事等

美術館ガス消火設
備改修工事

美術博物館空調熱
源改修設計業務等

市民センター非常警
報設備改修設計業務

少年自然の家体育
館屋根改修工事

総合学習センター
屋根改修工事

消防団車庫警備室
外部改修工事

東消防署南分署発電
設備改修工事

高年者センター中央
監視設備改修工事

福祉の村体育館屋
根改修工事

公共建築物管理保
全業務

※ 公共施設の長寿命化を図るための計画的保全整備に要する事業に充てるものです。

市有建築物の中長期保全計画を作成し、計画的な改修工事を行うことで、目標耐用年数である 80 年（鉄筋コンクリート造の場合）まで長寿命化し、ライフサイクルコスト（施設の建設から運用・解体までに発生する費用の総額）の削減及び財政負担の平準化を目指します。